

佐原聖家族園新聞

H29.7.13第100号発行
発行責任者：飯島広司
編集：逸見・清水
小曾根・星野

なのはな外出

6月7日（水）になのはな行事で銚子方面へ外出しました。最初にハーブ園に行きました。ここは、一昨年なのはな行事で行く予定だった場所です。一昨年は休館日であり、入場できなかったため、今回はリベンジ出来て良かったです。

ハーブ園ではラベンダー摘みをし、皆さんラベンダーの香りに癒やされている様子でした。また、ヤギやウサギとふれあい楽しそうにされていました。昼食は「一山いけす」で魚料理を頂きました。皆さん美味しく召し上がっていて良かったです。私自身初めての小舎行事であり、緊張と不安でいっぱいでしたが、園では見ることが出来ないような皆さんの様子を見ることが出来て、非常に良かったです。

なのはなの家担当 新井 璃世



フライングディスク大会

常世田さん 金
石毛稔さん 銅

6月11日（日）千葉県総合スポーツセンター第二陸上競技場にて「第6回千葉県障害者フライングディスク選手権大会」が行なわれ、佐原聖家族園からは陸上部のメンバーを中心に5名の利用者が参加しました。

この大会に向けて、陸上部では1ヶ月ほど前から部活動の時間に練習をしてきました。大会当日は風が吹く難しいコンディションでしたが、皆さん練習の成果を発揮し、常世田節子さんが金メダル、石毛稔さんが銅メダル（いずれもディスタンスの部）を獲得することが出来ました。

まだ今年度は何度かフライングディスクの大会が予定されています。メダル獲得という目標はもちろんのこと、自己記録の更新を目指して練習を頑張っていきたいと思ひます。

陸上部担当 逸見 諭



♡♡今後の予定♡♡

7月26日	クラブ活動	4日	部活動	8月26日	家族交流会
29日	家族交流会	9日	クラブ活動		納涼祭
30日	ウォーターフェスタ	11日	山の日	30日	いちご小舎外出
8月1日	内職班慰労会	18日	部活動		
	自治会	23日	クラブ活動		



ナザレの家かとり

佐原中央公民館にて6月14～18日まで、まきのハウスの橋本健司さんの作品が展示されました。

テーマは、「町並みの災害」。6年前に起きた、3.11東日本大震災において被害にあった小野川の風景を描いた作品です。橋本さんは、佐原の町並みや祭り、小野川の風景が大好きでしたが、被害にあった香取市の風景を見るのは、とても悲しく辛かったそうです。絶対にあの日の事を忘れてはいけない、あの震災を絵に残したいと思い今回の作品がうまれたそうです。



6月24日、こなぐちハウスの利用者さんは、茨城県神栖市の港公園へ行きました。

ソテツやカナリーヤシなどの南国の樹木がおよそ8000本、季節ごとに色とりどりの花を咲かせています。また、芝生でゆっくりくつろぐことができます。

展望塔に登ると鹿島港を一望でき、大きな貨物船をみることが出来ました。また、展望塔最上部デッキでのジュースの味は格別なものでした。ゆっくりと休日を楽しむ事が出来ました。

6月2日、あけぼの園の行事で東京ディズニーランドへ3名の利用者さんが参加しました。当日は天候に恵まれ、大好きなアトラクションにも乗れて、楽しく過ごす事が出来ました。



社会福祉法人 ロザリオの聖母会
さわら せい かぞくえん

佐原聖家族園

〒287-0027 千葉県香取市返田323-1

TEL 0478-50-7117

FAX 0478-50-7118

佐原聖家族園E-Mail:s-kazokuen@rosario.jp

ロザリオE-Mail:honbu@rosario.jp

ロザリオHomePage:http://www.rosario.jp

編集後記

100号記念特集を作るにあたり、1号から99号まで目を通しました。

その時々でレイアウト等の違いはあるものの「園での様子を分かりやすく紹介する」という部分は一貫しており、共通した想いを感じることが出来ました。その想いを引き継ぎ、101号以降も作っていきたいと思ひます。
＜逸見＞

6月の写真から

今回は七タクラブの様子をご紹介します。



6月28日、食堂にて七タクラブを行いました。皆それぞれ好きな色の折り紙を選び、クレヨンや色鉛筆で思い思いの願い事を書いて頂きました。「作業を頑張る」と書かれる利用者の方がとても多く、日々の作業に意欲的に取り組む姿勢が伺えました。書いた短冊は、職員が笹を切り飾り付けを行いました。

伊能 可純



職員リレートーク

佐原聖家族園の職員が思いのままに語る職員リレートーク。節目の100号は、医務の西宮晴美・高野奈里子両看護師です。

医務室の西宮と高野です。今回は医務室のある日の出来事をお話したいと思います。

梅雨の合間の良く晴れたお昼時、私たちはパソコンの入力作業をしていました。その背後に忍び寄る影……。ただならぬ気配に突然ギャー、ギャーと悲鳴（おたけび？）をあげ、高野の右腕にしがみつくと西宮ナース。何が何だかわからず「え？？」と置いていたら、高野の頭上からポトリと茶色の細長いものが落ちてきました。（その間に悲鳴とともに支援員室に逃げ込む西宮ナース。）悲鳴に食堂からも何事だ！？と職員が集まってきました。その茶色の正体は体長13センチほどのトカゲでした。医務室の机の上を走り回ったトカゲは無事男性支援員によって外に出されました。換気のため外に通じるドアが全開になっており、どうやらそこから医務室に侵入した様子。昆虫と爬虫類が大の苦手の西宮ナースはまた珍客が来るのでは・・・、と、このところ毎日震えております。それにしてもすごい悲鳴でした……。ちなみに、同じ日にゴ〇〇リも出ました。



夜間防災訓練



6月20日夜間想定の方災訓練を行いました。今回の訓練では、すずらん小舎を火元と設定し農作業棟への避難を行なっています。

「すずらんの家から火事だ〜！」という職員の声で利用者の皆さんは、比較的落ち着いて農作業棟へ避難することができていました。

職員は夜間の防災訓練ということで少人数の中避難誘導を行ない、利用者の皆さんを迅速に安全にと考えながら避難訓練に臨んでいます。

今後も訓練を重ねていき、災害からの避難をより早く安全に誘導できるようにしていきたいと思ひます。それよりもまずは、火事を起こさないように日々過ごしていきたいと思ひます。

担当 柴 瞳



農耕園芸班慰労会



6月21日、農耕園芸班の慰労会として風土村のランチバイキングに行ってきました。当日は朝からあいにくのお天気となりましたが、道中はそれぞれが食べたいもの・飲みたいもののお話で持ち切りで、レストランに着いてからはみなさん思い思いに食べたいものをお皿に乗せ、心ゆくまでランチバイキングを楽しまれていました。

メニューの中でも特に人気だったのは、揚げたての唐揚げと新鮮なローストポークの2点で、中にはデザートまでしっかり完食されている利用者さんもありました。

年に一度の楽しみである作業班の慰労会、来年も全員で行けることを楽しみに、これからも作業を頑張りたいと思ひます。

農耕園芸班 鈴木 靖昂

食べ放題

